

ふれあいトーク記録書 （ 議会サポーターとの意見交換会 ）

開催日時： 令和 5年 7月 12日（水） 午後 7時 00分 ～ 午後 8時 30分

場 所： 市役所7階委員会室

参加人数： 16名（サポーター）6名（市議会議員） 計16名

- 次 第： 1. 開会挨拶 市議会議長 関戸郁文
 2. 意見交換
 3. 閉会挨拶 市議会議長 関戸郁文

項目	サポーターの意見・質問等	議員の意見等
サポーター 制度をより 良くするた めに	<p>予算書など少し早めに資料をもらって我々も勉強できるとよい。また、ちょっとした質問もできるとよい。（NGかもしれないが）</p>	
	<p>傍聴はしてきたが、なかなか内容を理解できていないところもある。資料を早めにもらって勉強させてもらえるとよい。一般質問で議員が情報収集したり、調べて提案されることを楽しみにしている。新しい議員が何を質問するか関心がある。フレッシュな気持ちでやってもらえれば良い提案できると思う。</p>	
	<p>一年目は、議会でどういう議論されたかなどしっかり入り込めなかったし把握できなかった。二年目は少し時間ができるかなと思ったが、時間ができる、できないじゃなくて、自分がどうするかっていうことで、勉強不足だと感じ</p>	

	<p>た。ただ、これまですごい意識して、いろんなものを見るようになったし、LINE等で情報が常にくるので、気になることは比較的に見やすくなっていると思う。他人事になるとこう関われない。意識がないので、そういうことに気づけるような何かがあると良いと思う。仕掛けというかそういう機会づくりがもう少しできたら良いと思う。これから市民の声、要望などあれば意識していきたい。</p> <p>こういうシステムそのものがあることが岩倉市は良いところと思った。一市民の意見をこうやって聞いていただけるというシステムそのものがすごくいい。市議会にはあまり出席できなかつたが、私の身の回りでこんなことが困ってるとか、こんなことは何かいい解決方法がないかとか努力した。踏切を境にして岩倉が東西に遮断されていると感じていたり、トランスジェンダー、ヤングケアラー、認知症、障害者、統一教会、オウムのことなど市議会がどう考えているか。名古屋市が認知症の検診をやっている。(アミロイド?) 岩倉市でもやってもらえるとよい。</p> <p>身近な私たちの生活に直結したことを、議員はどう考えて、どうそれを処理しようとしているのか、どういう捉え方をしているのかは時々知りたいなと思うことはある。</p>	<p>各議員が一般質問をしているので、議会だよりを見てもらうとよい。どんな議員がどんな質問をしているかもわかる。</p>
	<p>議会だよりに目を通すようにする。また、今回岩倉市は女性の議員が増えたので、それはとても嬉しいことでした。</p>	
	<p>良い経験をさせていただいて、自分自身の勉強のために</p>	

この二年間やらせてもらった。特に一般質問が好きなもので、一般質問の時には必ず出席をし、傍聴した。その都度、気になったことはレポートを出した。行政の説明に合わせた資料の見方もようやくわかるようになった。この制度作られた議員が、これをうまく活用したり、いい意見をもらってこの制度はいいわと思っているのか。作った制度だからしょうがない。年に数回集まり、最後はカードを配って終わりというふうな制度じゃないか。サポーターは支援者であり、またサッカーなんかの応援団という意味と感じている。本当にそれを議会に対してそのような役割を果たしているのかどうか気になる。LINEなどで情報などとれるかもしれないが、行政と議会が喧々諤々やるようなムードは、本当は実際に見た方がよい。ただそれを期待したが、ほとんどそういう場面はなかった。これが良いのか悪いのか分からないが、本当はもっとやってほしい。聞くだけで終わっている。行政の答弁も検討せず、勉強せずという答え。あとはありがとうございましたというふうなことで終わっているケースが多い。本当は、その答弁を受けたならば次のその議会でそれをフォローすべき。ちっちゃい菜のブレンド野菜のことも取り上げていたが、予算も3万円から10万円になったが、誰もフォローしてないのでは。どの段階に来ているのか知りたい。

また、要望する時は必ず質問者はその対案を持っていないといけないと思う。こうしたいというもの。今回、給食の無償化の問題にしても、岩倉市の財源のことならば、どこ

	<p>をどう削って、こういう財源を生みましようとか、この時期とこの時期だけ三か月でやめましよう。半年でやりましようとか、議員として質問する限りは、自分が対案を持っているのか疑問があった。世間の最新ニュースを持ってきて。質問だけをしていればいい。ではない。</p> <p>やはり、いろんな問題提起する場合は、自分ならこうしたいというものが少なかったような気がした。この2年サポーターをやったがちょっと物足りない点があったので、これからの議会でやっていただきたい。</p> <p>サポーターは、応援団や支援者だったら、やっぱりLINEだけじゃなく、じかに見て。応援しようと言う風なことだと思う。ただ自分からなったわけではなく、手紙が届いてなったわけだからどうかなとも思うが。やっぱりサポーターになったからには、前半後半で一回はレポートを出すや議会の傍聴は年に何回来るといった資格条件があってもよいのでは。</p>	
	<p>市議会議員というのは岩倉市が住みやすい市になるところを作る場所だと思っている。サポーター制度でこの二年間やらせてもらったがどうも見えてこないと感じている。もう一つ。新しい方が、こうやってやっていきます、お願いします。とすごくやっておられたが、市議会での勢いでしゃべるのかなと思ったら全然違ったので、そういうのを見せて欲しかった。</p>	
	<p>議員はもう少し質問が出ると思ったが、行政に対して突</p>	

	<p>っ込まれるかなと思うところになると終わってしまう。それはすごくもの足りなく他のサポーター意見と同感である。サポーターは議員のあくまでも応援団なのか、議会の応援団なのか、それとも議会を皆さんに広く知ってもらうのが趣旨なのか、そのところがよくわからなかったという一年間だった。</p>	
	<p>岩倉市に関心を寄せるために引き受けようっていう風に始めた。幼稚園のお迎えの時にママ友さんたちにも議会の配信などしている話はできた。</p> <p>サポーターとは、先ほど応援団というところの話があり確かにそうだなって思う部分と、他のサポーターでは、その旗振りやって応援している人たちってつながっているが、そういう横のつながりがあるともう少し変わっていくのかなと思った。議会を見ながら、もうちょっとここで突っ込んでほしいなあっていうのは、確かに感じていて、委員会の方がまだ、見ていて楽しいと思うから、生のやりとりが大事と思うことはあった。</p> <p>昔は、涙流しながら訴えられてくる親御さんもいて、職員として歯痒い気持ちになって不甲斐ない気持ちになって申し訳ない、もっと頑張りたいと思っているという話をしていた時代と今いろんなことが整ってきている中で、その制度とかがある中で、バチバチした感じのものが少なくなってきた。時代なのかなと感じている。</p> <p>名古屋では年に一回ずつしか他団体さんごとと話し合</p>	

	<p>いをしませんっていうふうに言われてる。この議会サポーターとして何回も意見を出せるというのは、そういう場を持たせてもらっているのはありがたいと感じている。</p>	
	<p>今まで岩倉市の議会は開かれてるっていうのは知っていたが全く関心がなかった。今回このサポーターを務めて、初めて議会でこんな話がされてるとか、こういう場があるというのに気づいた一年だった。でも議会傍聴の感想としては、たくさん意見をとということでおっしゃっているのは分かるが、内容がない。はっきり言って、その議会で話す必要があるのかというような質問など。なんか議会ってこんなんやったんやという残念な感想しかなかった。</p> <p>また、このサポーターの存在の価値というか、存在意義というものもあまり見いだせなくて。このサポーターがそんな必要なのか、今後必要なのかということも私にはよく分からなかった。</p>	
	<p>出席させてもらったのは2回ぐらい。色々経験させてもらった。こういうことを今岩倉では進めてるんだとか、そういうお話をやってるんだとか、そういうものを興味が出てきた。サポートでどういったことをやればいいのか分からなかったが、議会はやっぱり、たまたまかわかりませんが、傍聴席にあんまり人がいない、関心がないことが見受けられた。</p> <p>岩倉市民の意見を回覧板とか、そういったもので何か書いてもらおうとか、そういったものをやれば、いろいろ出て</p>	

	<p>くと思う。岩倉の発展のためにどうしたらいいのかとか考えてやれば何か良い案が出てくるのではと思った。</p>	
フリートーク		<p>岩倉を良くして行くっていうことの観点で考えると、もっと市民の皆様が関心を寄せられるように発信をしていかなければならない。もう少し、言われるような意見を交わせるようなやりとりをできるようにしていきたい。</p>
	<p>一般質問でありがとうはいらない。行政が答えるのは当たり前のこと。</p>	
	<p>誰かの応援団ということはやめましょう。サポーターを受けた以上は言われたからやったというのはやめましょう。わきまえることはわきまえる。礼儀もある。我々が悪かったら市長や議員も悪くなる。議員も市長も言いたいけどいえないこともあると思う。最低限はその辺心得てお願いしないといけない。</p>	
	<p>議員の応援ではない、議会のサポーターと思っている。</p>	
		<p>自分たちの活動が不甲斐ないものがあり、深く反省しなければならぬ。サポーター制度の捉え方はさまざま、市政を知りたい、役割がわからない、はじめて議会に関心を持ったなどこれら議会サポーター制度の一つの意義と思っている。</p> <p>公募もあるし、複数年やっている人もいる。プロ市民というか、議員と同じように市政を見ているような人もいる。がっかりさせてしまっているのは、議員がもっと勉強して、一般質問の質を高めていかなければならない。本質を突い</p>

		<p>た質疑になっていないのか反省している。このような意見ができることが、制度がある意味でもある。議員が反省することができる。始まって5年。意見を頂いて、自ら切磋琢磨していく制度と捉えている。意見をたくさん出してもらいたい。</p>
		<p>一般質問は現行のとおり読んでいる。行う前に行政とのヒアリングがあり、市民の意見を反映している。認知症の検診、早期発見には興味を持っている。議員として、情報や意見を聴いて、政策に繋げることが皆さんに喜んでもらえることと思う。この制度での意見を活かしていこうと思っている。</p>
	<p>初めは、傍聴が目的だった。そうした中でサポーター制度ができてサポーターになった。まず市政を知ることが大事。予算規模の重点などそれを議会がどうしているかを見ている。3月の予算と9月の決算資料は必ず見ている。予算規模を近隣と比較してみていくと面白くなる。資料を見ること、やりとりを聞くことがおもしろい。サポーターという言葉にこだわることはないと思う。サポーターもいろんな情報をとって議員個人にもものを言っていけばよい。</p>	<p>一般質問はあまり難しい言葉を使わないようには気を付けている。また、あの時の質問どうなったということでもう一回やりますということもある。サポーターの意見を聴いて取り組んでいきたい。</p>
	<p>私たちの意見は議員の皆さんは回覧しているのか。皆さん打ち合わせをして回答をだしているのか。</p>	<p>そのようにしている。</p>
	<p>予算でも何を意見として出してよいかわからない時点で、意見を求められてもどうかと思う。 議会のパブコメに意見を出したが、どういう基準である</p>	<p>コロナがあり、ネット上で意見をきくことになった。予算について、事前に意見をもらう取組をやって3年ぐらいでしょうか。新規、主要事業の中から正副議長と議会基本</p>

	<p>テーマを選んだのか。</p>	<p>条例推進協議会の正副会長で抜粋している。推進協議会で皆さんに確認を取りながらやっている。</p>
	<p>プライオリティを考えたとき、もっとほかにあるのではないかと感じた。予算規模の小さいものもあった。</p>	<p>部活などは予算規模小さくても、子どもたちや保護者、学校教育に関わることで選んだ。</p>
	<p>なぜ選んだがというところともう少し説明があるとよいが。</p>	<p>議員もこの資料で示され、このとおりに説明を受けるだけで、その後の質疑の中で、議員も聞いていくのが実情。掲載した内容が一番丁寧なものである。本来は、質疑など議論の後に、議会報告会を開催して、このような予算が決まりましたという報告会ができるとういのが、コロナ禍もあってこうしてきた。出された意見は、財務委員長が質問するなどして反映している。</p>
	<p>一般質問について詰めたがゆえに刺激がない。決まっているんだとなる。ぶっつけでやったほうが良いと思うし、そうもいかないとも思うが、一つぐらい、一部分でも土壇場でやるものも取り入れてはどうか。</p>	
	<p>国会でも、質疑応答の内容は事前に提出している。いい加減な途中でドキュメントみたいなことをやられては困る。きちんとやってほしい。多少退屈でもそれが仕事。</p>	
	<p>一般質問の通告をするとヒアリングがあり、このヒアリングのやり方は議員で違う。答弁に関わることまで触れられる。また、答弁書をもたらる人もいたり、いなかったりしている。その場で聞いた答えに対し反応して、対応できるように努力はしている。シナリオはそこまで書いていない。</p>	

	<p>質疑をしてその内容で良いと思ったことは修正するのか。</p>	<p>予算的なことは、来年度やその次の年度、補正予算の中で足りない場合は出せるかどうかみたいなやりとりはある。事業の運営の仕方は、議員の意見を組み入れてやられるケースは多いと思う。修正されている部分もある。そうではないケースもあるが、意見は反映できていると思っている。</p>
	<p>議会というのは意見が変わらなければいけない。何のために会議があるのかという気持ちをもってほしい。それで、給食費の30円の負担は最終どうなったか。</p>	<p>予算どおり値上げとなっている。</p>
	<p>それが、岩倉市が子供を大切にしていこうという一貫性がないと思った。一貫性だけお願いしたい。</p> <p>もう一つ、恐ろしいクレーマーに負けないで。緊急の時に流せない無線（スピーカー）について、クレームきても、きちんとした税金の使い方をしてください。正しいことができないのが一番心配。応援してます。</p>	
	<p>このサポーターは、ためになる話でもないがそれでよいのか。</p> <p>体調悪くて市議会傍聴もほとんどできなかった。それでもよいのか。議員としゃべれる人ばかりではないので、世間話でも言っているのかなと思っていたが、今日は勉強になった。</p>	<p>フリートークの時は大丈夫です。どんどんご意見を言ってください。</p>
	<p>最近はユーチューブも早送りされててよい。選択されているみたいだが、リズムか何かあるのか。</p>	<p>大体10分～15分ぐらいになるが、質問の項目で区切っている。一般質問は見やすいように項目ごとに切り分けた。協議会はまだ映っていない。</p> <p>本会議場はマイクシステムしっかりしているが、委員会</p>

		<p>は聴きづらいという意見は聞いている。事務局も努力はしている。</p>
	<p>サポーターの心構え 予算書まで吟味してよいものか。大変である。議案も条令改正言っても変更になることない。なので一般質問から見るのがよい。予算書を開くにもそのページをぱっと開けない。2、3年はやらないと開けない。</p>	<p>私も14年前ぱっとできるかと言ったらできなかつたりした。皆さん一緒だと思う。</p>
	<p>先ほど、打ち合わせ通りというかシナリオができて話をするといったことで、例えば緊張感持ちながら、シナリオどおりやっていくのは・・・ということで、正確でないというのはその通りであるが、分からないのは、分からない、調べて返事すると答弁すればよいのでは。</p>	<p>財務委員会は意外とガチンコでやっている。通告ほとんどしてない。</p>
	<p>予算をとる報告ばかりではなく、予算がどのように使われているか、正しく使っているかはどうなっているか。</p>	<p>決算審査はあるが、予算が通った以上は執行機関に任せるとなる。日常的には監査委員という制度があり、議会からも選出している。そこでは、毎月監査している。</p> <p>監査で知り得たことはしゃべってはいけないことになっている。9月議会で監査委員の意見書が出てくるので、議員はその意見書に対して意見を言うことはできる。</p>